

視聴覚いしかわ

Vol.19

発行／石川県視聴覚教育協議会
編集／石川県立生涯学習センター学習情報グループ
発行人／会長 山越 善耀

令和5年3月24日発行

金沢市石引4丁目17-1 石川県本多の森庁舎 石川県立生涯学習センター内 TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585

自分の苦手を自分で解決！～ICTによるコトづくり♪～

金沢工業大学 情報フロンティア学部 メディア情報学科

講師 浦 正広 (博士・情報科学)



講演者について

はじめに、講演者について紹介します。講演者は大学進学後から現在に至るまで、情報やメディアに関する研究を行う組織に所属しています。細長い風船をひねって様々な形をつくる「バルーンアート」や、砂を平面に配置したり削ったりして絵を描く「サンドアニメーション」についての研究で、博士論文を執筆しました。

これらのアートに関する題材が「研究」という小難しい印象の言葉と結びつかない方もいると思いますが、これらはそれぞれ学会で論文賞に選定されるなど、高く評価いただいています。詳しく話すセミナーの時間に収まらなくなるので一言で説明すると、ICTを活用してアートの制作を支援するシステムを開発した研究です。また、講演者がサポートした学生が学会やコンテストで数々の受賞の栄誉を授かっているのですが、これらも同様にICTを活用した研究によるもので、こちらについてはこのあとご紹介します。

これら受賞は決して自慢しているのではなく、ここでお伝えしたいのは、これらの研究は、講演者や学生さんの「できない」が出发点ということです。ICTは自分の「できない」を自分で「できる」に変えることができるツールであるということ、今回の講演を通してご認識いただけたら幸いです。

苦手と本質

学生の研究をご紹介する前に、「できない」ことを起点とした研究がなぜ評価されるものになり得るのか、その理由をお話します。

1つ目の理由は、苦手なことは実は自分の興味のあることである、というものです。たとえば、自分にとって全くの無関係、言い換えると、興味が向かないことに対しては、人は苦手意識を抱かないと思います。つまり、苦手なこと＝興味のあること、といえます。そのため、苦手なことは高いモチベーションで取り組める可能性を有しています。

2つ目の理由は、苦手だからこそ気付けることが存在する、というものです。できない人が躓（つまづ）いているところを、できる人は躓かずに進めます。躓くのはそこにその人にとっての問題があるからで、つまり、できない人はできる人が気付いていない問題を発見している状態といえます。また、できない人はできるようになるための従来のアプローチではできるようにならないため、解決に求められるアプローチは必然的に従来のものと異なり、結果としてユニークな提案に繋がります。

ICTによるコトづくり

それでは、学生がICTを活用して自分の苦手を解決する「コト」を実現した研究について紹介します。

突然ですが、壁に貼られた風景の写真の周囲に、手前方向に10cmほど出っ張った枠が配置されたもの見たとき、人はそれをどのように認識すると思いますか。不思議なことに、窓っぽいものとして認識します。この性質を利用して取り組んだのが、デジタル窓の研究です。自分の作業スペースに閉塞感を覚えている学生がいました。空間を広げる物理的な解決は難しいため、心理的な解決を考え、閉塞感の要因を突き詰めた結果、外の景色が見えないことが要因として挙げられました。そこで、風景の表示されたタブレット端末をはめ込む窓枠型デバイスを開発しました。

字を上達したいという悩みを抱えた学生は、運筆リズムをなぞるペン字アプリを制作しました。字が上達しない人には、字を紙に書く従来の練習で補なえていない要素があるはずで、それが筆記具の運びである運筆であると気付きました。運筆に着目したことで、達筆な人がスマホ上で書いた字形と運筆を再生してなぞる練習という着想を得ました。

子供のころに自分が描いた絵が生きているように動いてほしいという夢を持っていた学生は、子供が自分でプロジェクトマッピングを制作できるシステムを制作しました。塗り絵をスマホのカメラで撮影して、スマホの画面を虫眼鏡で拡大してその光を塗り絵に投影することで、自分が塗った絵が動いているように見える仕組みを構築しました。

祖母に良い介護をしたかったという思いを持った学生は、双六型の介護レクを制作しました。介護レクの課題の1つはマンネリ化です。しかし、新しいレクの導入は職員の負担になります。そこで、双六のマスをカードにして、配置を変更すれば異なるコースにできるようにしました。マスをPCで読み込むと関連する動画が再生される機能も実装しました。

怖がりでもホラーが楽しめない学生は、怖さを自分に合った状態に自動調整してくれるVRお化け屋敷を制作しました。怖がりな人も、怖いものを全く楽しめないわけではなく、ある程度までの怖さなら楽しめます。そこで、心拍計を装着した状態でVR空間に入ってもらい、心拍値に応じてお化け側が恐怖演出を加減してくれるお化け屋敷を設計しました。

これらの研究は、いずれもICT機器を用いることで、できない→できる状態を作り出しました。皆様も是非ICTを活用して「コト」をつくってみてください。

令和4年10月31日開催
第3回ICTセミナー

令和4年度石川県視聴覚教育協議会の活動について

石川県視聴覚教育協議会は、本県の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的とし、県及び市町教育委員会の視聴覚教育担当部局をもって組織され、視聴覚教育に関する研究奨励及び指導者研修、学習情報の交換のための事業等を行っています。

令和4年度の活動内容を紹介します。

令和4年度理事会・総会

令和4年度 役員一覧

会 長	山越 善耀	石川県立生涯学習センター館長	監 事	矢嶋 健次	金沢市	
副会長	久徳千鶴子	珠洲市	"	源田あずさ	津幡町	
理 事	川端 夕希	川北町	参 与	岩木 智子	石川県教育委員会生涯学習課長	
"	山崎 京子	野々市市	事務局	事務局長	石野 周	生学セ・学習情報グループリーダー
"	谷 秀一郎	中能登町		事務局員	谷内 明	生学セ・学習情報グループ
"	松原 久尚	輪島市		"	島村 守一	"
"	上坂 律人	石川県教育委員会生涯学習課				

令和4年5月13日（金）、石川県本多の森庁舎において令和4年度理事会を開催し、令和3年度事業・決算及び令和4年度事業計画・予算案が原案どおり承認されました。その後、令和4年度総会を文書方式で実施し、同じく原案どおり承認されました。

情報技術活用研修会

各市町において実施される情報技術活用を目的とする研修会です。

令和4年度は、次の2市で実施されました。

実施主体	研 修 会 名 (内 容)	開催日(期間)	場 所	受講者数 (延べ)
七尾市	ZOOMの使い方講座	令和4年8月23日	田鶴浜地区コミュニティセンター	24人
野々市市	アニメーションづくりワークショップ (パソコンでパラパラまんがに挑戦！)	令和4年8月25日	野々市市文化会館 フォルテ	7人

ICT セミナー

当協議会が、各市町視聴覚教育担当職員などを対象に行う講座です。

(1)「防災放送アナウンストレーニングシステムの開発」

日 時：令和4年8月2日（火）14:00～15:30

会 場：県立生涯学習センター 能登分室

講 師：金沢工業大学情報フロンティア学部 准教授 高野 佐代子 氏

参加者：6名

住みよいまちづくりのために、様々な分野で ICT 技術を活用した研究が行われています。今回は、聞いたら逃げたくなる防災放送を目指す研究について講演をいただきました。参加者からは、ぜひともこの研究成果が実際の防災行政に取り入れられることを期待したいとの声が寄せられました。



(2)「オンライン会議のためのZOOMの基本操作講座」

日 時：令和4年10月25日（火）13:30～16:30

会 場：県立生涯学習センター まなびすとルーム

講 師：Office アシスタ代表 山川 広美 氏

参加者：8名

コロナ禍で急速に普及しつつあるZOOMの基本操作を、スマートフォンを利用して学びました。参加者からは、「必要なことを学べてよかった」、「日頃のモヤモヤがなくなりました」、「主催者側になる方法も学ぶことができた。今日教えてもらったことを挑戦してみたい」などの感想が寄せられました。



(3) 「自分の苦手を自分で解決！～ICTによるコトづくり♪～」

日 時：令和4年10月31日（月）14:00～15:30

会 場：県立生涯学習センター 教室

講 師：金沢工業大学情報フロンティア学部 講師 浦 正広 氏

参加者：8名

学生さんが自分自身の苦手と向き合い、ICTの活用により自分自身で解決した事例を通して、ICT活用の発想法を学びました。質疑応答では、大切なのは問題を発見する力で、技術的な面はできる人に手伝ってもらえばよいとの言葉に気持ちが楽になったとの声も寄せられました。



県民映像力レッジ

広く一般県民の皆さんに、映像作品制作に興味をもってもらい、ビデオの撮影・編集の技術を学んでいただく講座です。（石川県民大学校 教養講座）

日 時：令和4年8月30日（火）13:30～16:00

会 場：県立生涯学習センター教室

講 師：金沢学院大学芸術学部 准教授 越田 久文 氏

参加者：4名

講師の金沢学院大学芸術学部准教授越田久文氏から、ツーショットやグループショットの基本を始め、登場人物の内面を表現する高度な技術まで講義をいただきました。その後、受講者の撮影した作品について、テロップの入れ方、効果的な場面の切り替え等について、具体的な指導をいただきました。

受講された皆さんが講座の成果を発揮し、地域の映像記録に力を発揮され、多くの映像作品が制作されることを期待します。



全国大会について

第26回視聴覚教育総合全国大会・第73回放送教育研究会全国大会合同大会

令和4年度の全国大会は、一昨年度以来3回目となるオンラインにより、令和4年11月12日に開催されました。

<生涯学習関係のセミナー・実践発表>

1. セミナー

(1) 「視聴覚センター・ライブラリーとしてデジタルアーカイブにどう取り組むか」

日本デジタルアーキビスト資格認定機構理事の坂井知志氏から、デジタルアーカイブの視点から視聴覚センター・ライブラリーの役割等について講義をいただきました。

視聴覚メディアのデジタル化により、形が残らない、メタデータ（いつの何なのか等）を整備しておかないと利用できない、技術の変化で近い将来データが開けなくなる恐れがあることから、今の時代がブラックボックスになる危機にある。

そのためにデジタルアーカイブの構築が必要であるが、従来から視聴覚センター・ライブラリーが行ってきた学校・地域に対する自作教材提供や教材制作支援を進めていくことが、個人・家族のアーカイブが地域のアーカイブへ、さらにはナショナルアーカイブの構築につながる。ICTによって視聴覚という言葉が古くなったという指摘は当たらない、とのことでした。

(2) 視聴覚教材の廃棄と移管手続きの考え方と手続き方法

全国視聴覚教育連盟の佐藤正事務局長から、視聴覚教材の廃棄と移管手続きの流れや方法、近年の動向について解説がありました。

2. 実践発表

(1) 岡崎市視聴覚ライブラリー（愛知県）：小中学校教師の有志による「おかげさ映像教材研究会」に、市視聴覚ライブラリーが事業委託を行い、自作教材を制作しているとのことでした。

(2) 富山県映像センター：郷土学習教材制作とデジタル配信等の取組について報告がありました。

令和4年度 合同大会
第26回視聴覚教育総合全国大会
第73回放送教育研究会全国大会

大会テーマ 未来社会に向けて 生涯にわたる学びを支えるメディア活用
令和4年(2022年)11月12日(土)
オンライン開催

AM ワークショップ
セミナー
PM 実践発表

今年も豊富なLine UPI! 詳しくは中巻をCheck it out!!
参加費 無料
申し込み方法は4ページ参照

コロナ禍の中で全国大会も3回連続となりました。この際、さまざまな場面でICT活用が急務に感じられ、ICT活用は必須のものとなりました。コロナが収束しても、この活用は変わらないものと考えられます。しかし、地域や機関によって、蓄積されている知識やスキル、人材、人的資源などには大きな差があり、その活用を促進するために、多くの課題があることも事実です。このように、多くの課題を抱えている中で、地域や機関の活用を促進することは大変重要であると考えています。今年度の大会も、オンラインによる開催とし、1人でも多くの方に参加していただくために、参加費を無料に設定し、積極的な参加を心より期待しています。

主催 全国視聴覚教育研究会連盟 NHK
全国視聴覚教育研究会全国大会事務局
（日本学校視聴覚教育連盟 全国高等学校メディア教育研究協議会 全国視聴覚教育連盟 一般社団法人日本視聴覚教育協会）
協 賛 NHKやービスセンター
後 援 内閣府 総務省 文部科学省 厚生労働省 東京府教育委員会 日本教育メディア学会 日本教育工学会
日本教育工学協会 日本視聴覚教育連盟 (公社)映像文化制作推進連盟 (一部申請中)

令和4年度（第53回）いしかわ映像作品コンテスト

共催：石川県教育委員会
後援：石川県小中学校視聴覚教育研究協議会
石川県高等学校視聴覚教育研究会
石川県社会教育協会
石川県公民館連合会

募集期間：令和4年10月1日(土)から
令和5年1月26日(木)まで

審査会は、2月7日(火)に県立生涯学習センターにて行われました。2時間半に及ぶ審査の末、右のとおり各賞が決定しました。

授賞式は、3月4日(土)14:00より、石川県本多の森庁舎2階第3会議室にて行われました。

5名の出席者のもと、石川県教育委員会、石川県社会教育協会、石川県公民館連合会、石川県視聴覚教育協議会からの各賞のうち、出席した受賞者への賞状授与が行われました。

終了後、講評並びに最優秀賞・優秀賞受賞作品の上映を行い、式は終了しました。

受賞された皆様、おめでとうございます。



審査委員

審査委員長	越田 久文	金沢学院大学 芸術学部芸術学科准教授
審査委員	岡野 重和	元石川県公民館連合会 副会長
〃	山越 善耀	県立生涯学習センター館長

審査結果

石川県教育委員会賞(最優秀賞)	手洗いでシェアハピ!	金沢市立工業高等学校前期保健委員会
石川県社会教育協会賞(優秀賞)	ようこそ! 河北 Diversity 中学校へ!	かほく市立河北台中学校
石川県公民館連合会賞(優秀賞)	北陸に新幹線が走る	藤平田 友市 (金沢市)
奨励賞	押野の歴史にタイムスリップ	野々市市押野公民館
〃	ココがスゴイ! 泉中学校下の老舗・今川酢造	金沢市立泉中学校放送部
〃	失われつつある金沢の和菓子	金沢市立港中学校放送部

☆☆☆ 審査講評 ☆☆☆

令和4年度いしかわ映像コンテストは、9作品による審査の結果、最優秀賞は、金沢市立工業高等学校の「手洗いでシェアハピ!」が選出されました。SNSで流行りそうなダンス動画をベースに手洗いの重要性をアピールする、若者らしい作品に仕上がっていました。

優秀賞のかほく市立河北台中学校制作「ようこそ!河北 Diversity(ダイバーシティ)中学校へ!」は撮影、編集技術が素晴らしく、同じく優秀賞の藤平田友市さんの「北陸に新幹線が走る」は北陸新幹線開業当時の感動を思い出させるドキュメンタリー作品となっていました。

奨励賞の野々市市押野公民館の作品は、地域をよく知る公民館ならではの目線で作られており、コンテストに新風を吹き込んだと言えるでしょう。

最優秀賞、優秀賞の作品はもとより、いずれも劣らぬ力作であったことを申し述べて講評いたします。
審査委員長 越田久文(金沢学院大学准教授)


===== 石川県立生涯学習センターからのお知らせ =====

石川県生涯学習情報提供システム「あいあいネット」で動画配信中! ぜひご覧ください。

「昭和のいしかわ」を知る 12 作品

 今蘇る石川の記録映画

ふるさとモット学び塾

 講座ビデオ

☆「あいあいネット」へのアクセスは…

<http://iinet.pref.ishikawa.jp/>

あいあい石川 で

お問い合わせ先 石川県立生涯学習センター学習情報グループ TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585